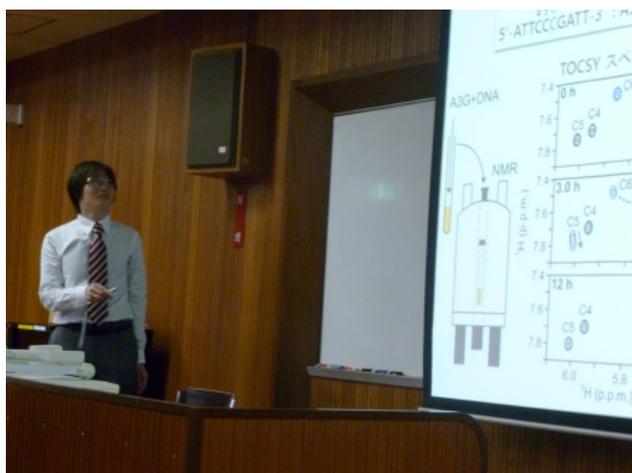


第 33 回 鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告書

2016年10月18日（火）午後5時から、京都府立大学附属図書館視聴覚室にて、神庭圭佑先生（京都大学）による講演（演題名：リアルタイム NMR モニタリング法の開発及びヒト抗ウイルス因子 APOBEC3G の脱アミノ化機構の解明）と、花房朋先生（清風南海高等学校）による講演（演題名：教師という仕事～ポスドクから高校教員になるまで～）が行われた。生命分子化学科および応用生命科学専攻の学部生および大学院生、約 20 名が熱心に聴講した。神庭先生の講演では、演題名にある内容について、ご本人らが行った最新の知見を中心に、わかりやすくお話しいただき、講演後も、多くの質問に丁寧にお答えいただいた。花房先生の講演では、ご本人の大学入学後、学部、修士課程、博士課程、ポスドクと、それぞれで異なる環境に身を置き、多くの方々との出会いを通じて、その多くの経験が今の高校教員というお仕事に活かされているといった内容を、わかりやすく、ユーモアも交えてお話しいただいた。なおセミナーは予定を延長し、午後6時50分に終了した。

神庭先生ご講演



花房先生ご講演

